

## <北海道熊研究会報>

第 16 号 2013 年 8 月 12 日

### ご意見ご連絡は下記へどうぞ

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所内(Tel. 011-892-1057)

代表 門崎 允昭 e-mail: kadosaki@pop21.odn.ne.jp

事務局長 Peter Nichols ピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association

Website は「北海道野生動物研究所」と入力して下さい

### 「北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association の活動目的

熊の実像について調査研究し、熊による人畜及びその他経済的被害を予防しつつ、人と熊が棲み分けた状態で共存を図り、狩猟以外では熊を殺さない社会の形成を図るための提言と啓発活動を行う。

この考えの根底は、この大地は総ての生き物の共有物であり、生物間での食物連鎖の宿命と疾病原因生物以外については、この地球上に生を受けたものは生有る限りお互いの存在を容認しようと言う生物倫理(生物の一員として人が為すべき正しき道)に基づく理念による。

Ⅱ 7 月 10 日に、北海道知事宛に、「北海道の熊問題について」申し入れを、行いました。

申し入れ内容の詳細は、既報(12 号～15 号)に公表済みです。道職員の三氏が対応され(動物管理担当課長 白鳥浩二氏、主幹 永浦政司氏、主査 車田 利夫氏)。当方は、門崎允昭、Peter Nichols、藤田弘志、森山まり子(日本熊森協会会長)が当たりました。14 時から、約 90 分間にわたる面談で、門崎が要望事項とその根拠について、書面を読み上げた後、懇談しました。「熊を殺さない、そして、各種被害の予防を図る、熊に付いて正しい知識を啓発する」。道の啓発パンフにある「熊に襲われたら死んだ振りをせよ」と言う妄言は是正すること、等々、さらに「熊の棲む北海道の自然との積極的な係わり方について啓発すべきこと」も要請しました。要するに道のパンフには、熊は危険なもの、恐ろしいものと言う前提で、「熊の糞や足跡、食べ痕を見つけたら、直ぐに引き返しましょう」と書かれて居るが、熊と積極的に共存すると言う観点から、これは消極的な姿勢と言うべきで、このような姿勢で熊を見る限り、熊との共存は出来得ない。熊は古来(有史以前)から北海道に棲んでいるのであり、熊が居る自然が北海道本来の自然であることを前提に、自己責任の下、積極的な姿勢で熊に対処することを啓発すべきこと。現に熊が度々出没する地所の住民(道民)は、熊が居て当たり前と言う意識で熊を見ている。この姿勢が熊が棲む北海道の住民の望ましい姿勢と言うべきで、熊の糞・足跡・目撃情報があつたからと、自然遊歩道を閉鎖し、入域禁止したりすべきではなく、明治前のア

イヌは隣の家に行く場合でも、熊の用心に、常に男はタシロ(刃先が尖った鉋)とマサリ(短刀)を腰に携帯した事、女はマサリ(短刀)を、携帯した事を、見習い、自己責任のもと、「ホイッスルと鉋を持参」し、入城することを啓発すること。そうしなければ、いつまでも熊との共存はでき得ない事を、強く要望しました。総じて、有意義な面談でした。これを機に、今後とも、行政機関に対して、「人と熊の為に」正論を要請していきたいと決意しました。

## 【II】 熊は猟師以外の一般人にどう対応しているか？

門崎允昭の 1970 年からの熊調査の知見を要約すると。

- ① 熊は人に遭遇しないように、注意しながら、行動している→殆どの熊が該当する。
- ② 人が来たら、出会わないように、身を潜めるか、他所に移動する。
- ③ 人と遭遇したら、直ぐに身をひるがえし→人から離れて行く。
- ④ 人と遭遇したら、その場で、しばらく、人の様子をうかがう(観察する)。この際、満 3 歳未満の若熊は目を動かし落ち着かない顔相をし、4 歳以上の成獣は、加齢に比例して冷ややかな冷徹な不快な顔相をすることが多い。ただし、熊は一瞬のうちに人を識別し、記憶する能力がある。
- ⑤ 少し近づいて来る事もある→そして、立ち止まり、人の様子をうかがう。なかなか、離れていかない場合も在る。
- ⑥ 前記⑤の後、身をひるがえし、離れていく、この場合、瞬時に身をひるがえす場合と、ゆっくり離れて行く場合とがある。
- ⑦ 脅しに、瞬時に人に突進してきて、人の前、二・三メートルないし数メートル前の所で止まり、一瞬吠えるなどし、また、瞬時に後退し、やおら、歩き立ち去ることがある→単独熊は稀、子を連れた母熊がすることがある。
- ⑧ その地所が熊の以前からの生活地で、今も草木が生えているか、生えていずとも、その近傍地で、しかも人が危害を与えないと識れば、人と熊の距離が 10 数メートル離れていれば、熊は平気でその場に居て、その場から離れようとしないことがある。
- ⑨ 稀に人を襲う事がある→瞬時に襲って来る場合と、にじり寄って来て襲う場合とがある→人を襲う原因は 3 大別される(排除・戯れ・喰うため)→刃物などで人から反撃され、熊が痛いと感じれば、攻撃を止め熊は人から離れる→従って、熊に襲われた場合は、積極的な反撃が有効なのである。

(了)